

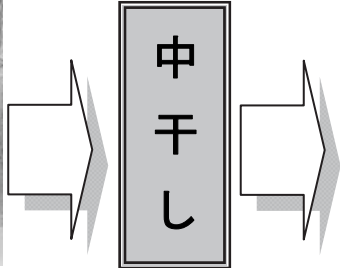
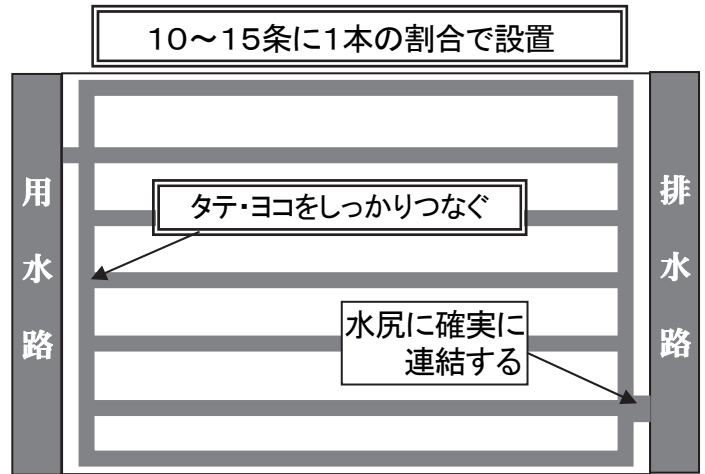
*溝掘りを確実に実施し、中干しの効果を高めましょう。
*出穂期から20日間の湛水管理に備え、的確な中干しにより田面を固めましょう。

1. 溝掘り

6月上旬までに溝掘りを行い、中干しの準備をしましょう！

中干しや、その後の間断かん水を効果的に行うため、6月上旬までに必ず溝掘りを行いましょう。

- <溝掘りのポイント>**
- ・軽く田干しを行い、泥を落ち着かせる。
 - ・溝の間隔は、3~5m (10~15条に1本) が目安。
 - ・水口 ⇄ 溝 ⇄ 水尻は確実に連結する。
 - ・水の切れないほ場では、設置本数を増やす。



充実した茎や根の確保!!

2. 中干し

田植えの1ヶ月後を目安に中干しを始め、確実に田面を固めましょう！

6月に入ると、急激に分げつが増加するので、**田植えの1か月後頃を目安に**、遅れず中干しを開始しましょう。また、出穂後20日間の湛水管理に備え、確実に田面を固めましょう。

①中干し開始時期の目安

田植日	中干し開始時期
5月10日	6月10日頃
5月15日	6月14日頃
5月20日	6月18日頃
5月25日	6月20日頃

- 中干しの効果**
- ・無効分げつの抑制
 - ・土中への酸素供給と根の活力アップ
 - ・地耐力の向上

②中干しの程度

・水はけの良いほ場
→ 長靴が沈まない程度の中干し
: **3~5日間間隔で田干しを行う**

田面に小さな亀裂が入るまで実施

・水はけの悪いほ場や粘土質ほ場
→ やや強めの中干し
: **5~7日間程度の田干しを2~3回行う**

田面に大きな亀裂が入るまで実施

⇒ **中干しが終了したら間断かん水を行いましょう。**

3. 中間追肥

エスアイ加里特号の施用で、丈夫な稲体に仕上げましょう！

肥料名	施用時期	施用量
エスアイ加里特号	6月中～下旬	15kg/10a

珪酸の効果

- ①根の活力を高める
- ②フェーン時に水分の蒸散を防ぐ
- ③茎葉を丈夫にし倒伏を防ぐ
- ④受光態勢を良くし登熟を高める

4. 中後期除草剤の散布

残草が見られる場合は、中干し前に中期剤の散布をしましょう！

<ポイント>

- ・溝掘り時に軽く田干しを行ってから、たっぷりと水を入れ、散布する。
- ・除草剤散布後7日間は止水とし、落水やかけ流しをしない。
(バサグラン粒剤の場合は、晴天日を選んで浅水～落水状態で散布し3～4日間は入水しない。)
- ・下葉の黄化が見られる場合は、軽く田干しを行ってから散布する。

○中期除草剤の散布

残った雑草	薬剤名	使用時期	散布量 (10a当たり)	処理上の注意
ノビエ 広葉雑草	アクシズMX 1キロ粒剤	移植後15日～ ノビエ4.0葉期 (但し収穫45日前まで)	1kg	・湛水状態で散布。 ・散布後5日間は湛水状態を保つ。
ノビエ 広葉雑草 アミドロ・藻類による 表層剥離	マメットSM 1キロ粒剤	移植後20～30日 ノビエ3.0葉期まで	1kg	・湛水状態で散布。 ・ 稲5葉期 以前の使用は避ける。 ・15℃以下の極端な低温や 30℃以上の高温 が予想される場合は使用を避ける。

○雑草が多く残った場合（後期剤）

残った雑草	薬剤名	使用時期	散布量 (10a当たり)	処理上の注意
ノビエ	クリンチャー 1キロ粒剤	移植後7日～ ノビエ4.0葉期 (但し収穫30日前まで)	1.0kg	・ノビエ専用剤で残効性がないので注意する。 ・やや深めの湛水状態（水深5cm程度）で散布。 ・散布後5日間は湛水状態を保つ。
		移植後25日～ ノビエ5.0葉期 (但し収穫30日前まで)	1.5kg	
広葉雑草 ホタルイ	バサグラン粒剤	移植後15～50日 (但し収穫60日前まで)	3～4kg	・晴天時に 浅水～落水状態で散布 し、3～4日間は入水や落水をしない。 ・散布後の降雨によって、薬剤が流出しないように水尻を止めておく

食の安全は生産履歴とGAPの実践から！

「安全・安心・高品質山田米」の生産のため、全ての作業内容を記帳しましょう。